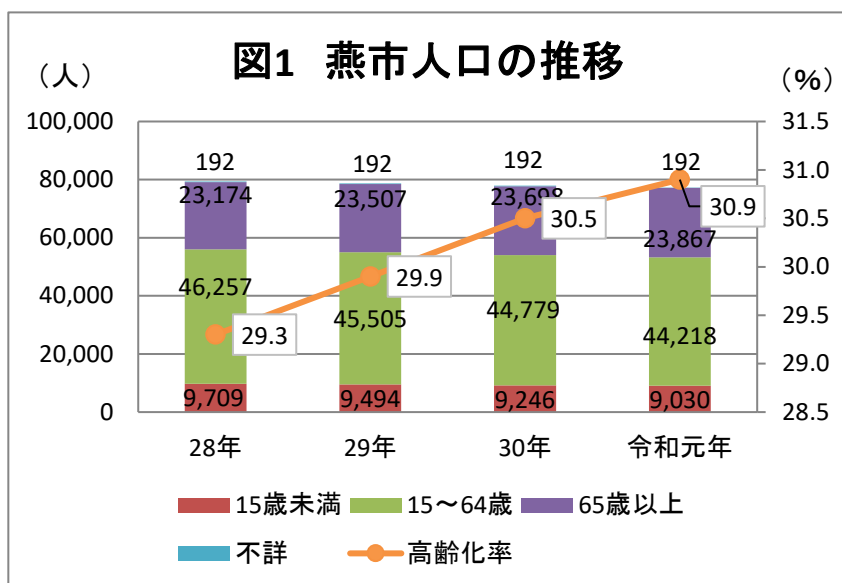


燕市の健康を取りまく概況

健康づくり課

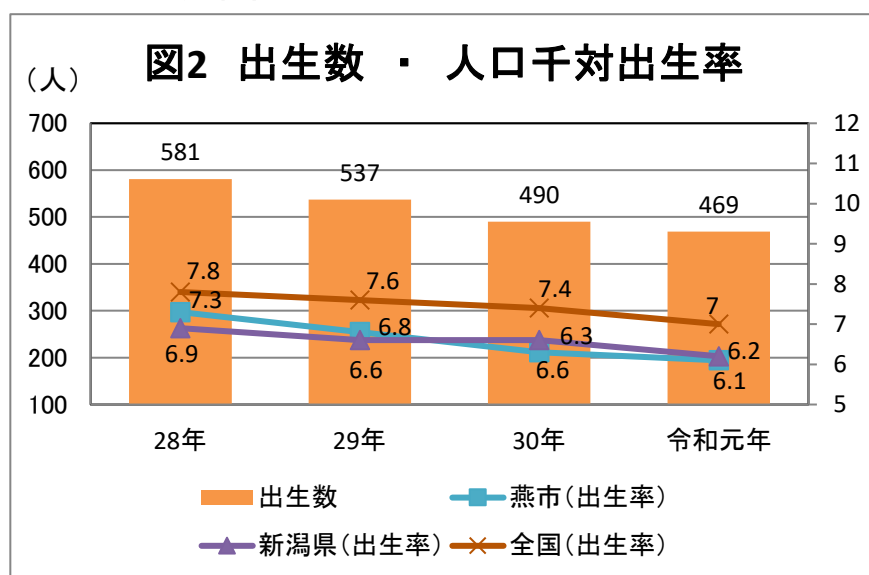
(1)人口構成 (第3次燕市健康増進計画 P7 図1比較)



資料:新潟県「新潟県推計人口」

総人口は年々減少しており、燕市の総人口は77,307人となっている。特に15歳未満の人口は、計画作成時の平成27年の9,885人から令和元年は9,030人と800人以上減少しており、高齢化率は上昇の一途をたどっている。

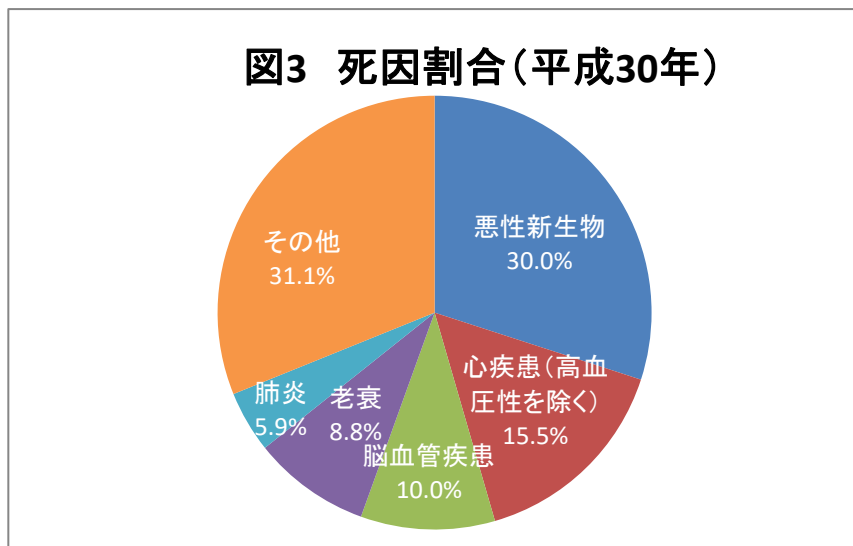
(2)出生 (第3次燕市健康増進計画 P9 図4比較)



資料:新潟県「母子保健の現況」

出生数は、年々減少しており、平成30年度以降は500人を下回っている。
出生率も、平成30年度以降は県よりも低い現状にある。

(3) 主要死因 (第3次燕市健康増進計画 P10 図6比較)



資料:新潟県「福祉保健年報」

燕市の主要死因の順位は、計画作成時の平成27年と同様の第1位悪性新生物、第2位心疾患、第3位脳血管疾患、第4位老衰、第5位肺炎となっている。

(4) 介護保険状況 (第3次燕市健康増進計画 P13 表2比較)

表1 要介護(要支援)認定者有病状況(令和2年度累計)

	燕市	新潟県	全国
脳疾患	31.9%	25.7%	23.6%
糖尿病	27.2%	21.4%	23.3%
心臓病	60.2%	60.2%	59.5%
高血圧症	53.2%	53.2%	52.4%
脂質異常症	32.8%	28.1%	30.9%
がん	10.8%	10.1%	11.3%
筋・骨格	48.6%	49.1%	52.3%
精神疾患	39.5%	39.1%	36.9%
(再掲)認知症	27.0%	25.7%	24.0%
アルツハイマー病	22.6%	20.6%	18.5%

資料:KDB(国保データベース)地域の全体像の把握状況

平成28年度と比較して、脳疾患は2.1%、精神疾患は0.1%、アルツハイマー病は0.2%減少した。他の疾患は増加傾向である。

(5) 国民健康保険医療費の状況 (第3次燕市健康増進計画 P14 図12比較)

図4 令和元年度合計費用額(燕市)

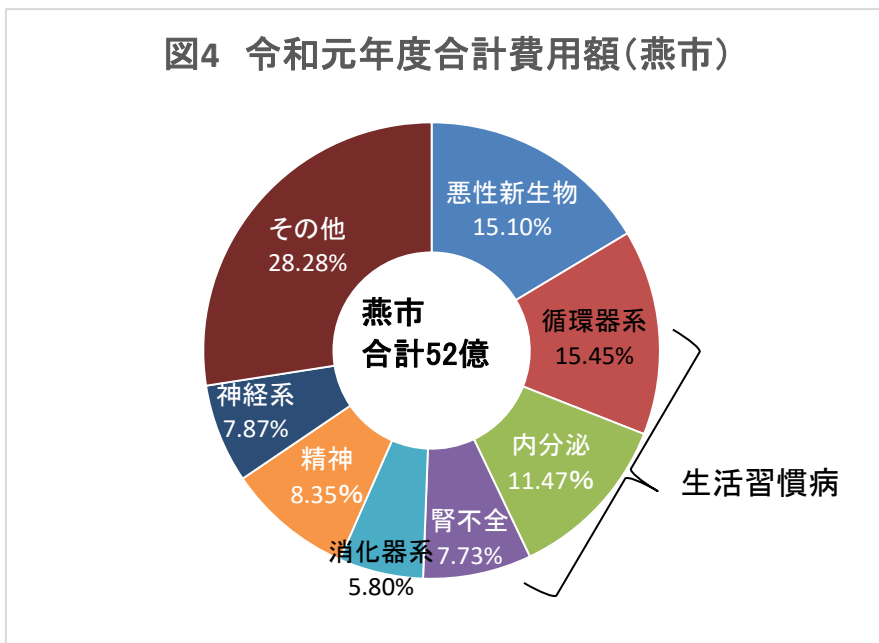
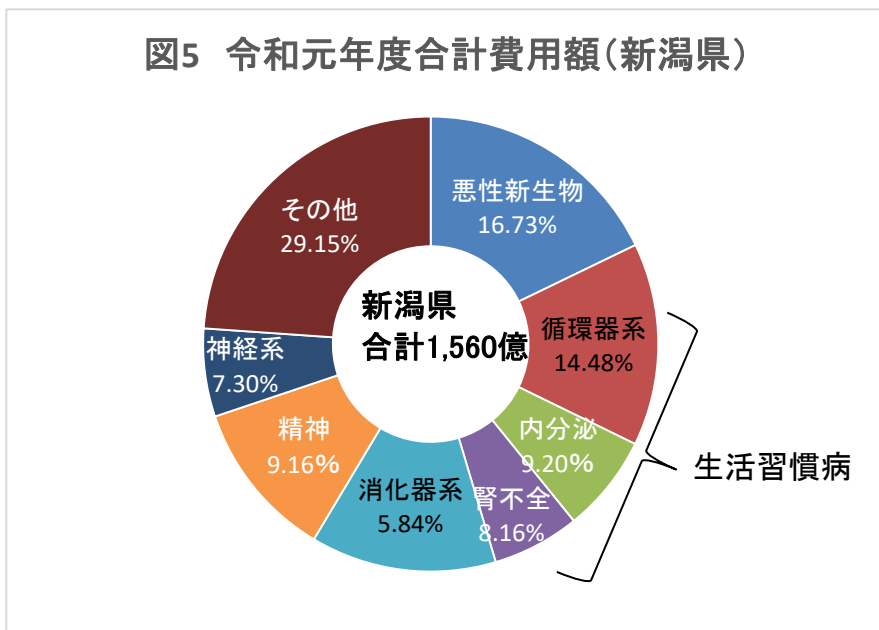


図5 令和元年度合計費用額(新潟県)

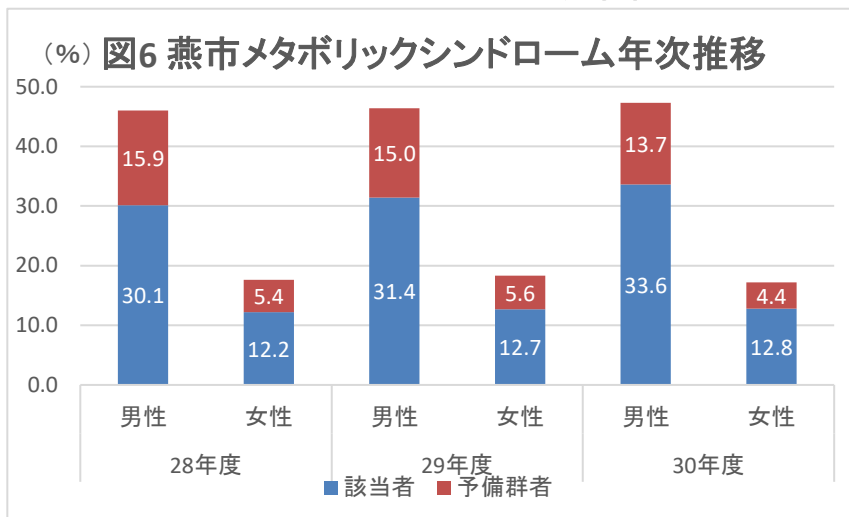


資料:KDBデータを使った疾病分類別(大・中分類)統計<国保>

令和元年度とは費用の集計方法が異なっているため、計画作成時の平成27年度の燕市・県とは単純に比較はできない。

令和元年度の県と比較すると、主な生活習慣病である「循環器系の疾患」「内分泌、栄養及び代謝」「腎不全」が燕市では34.65%を占めており、県の31.84%を依然上回っている。

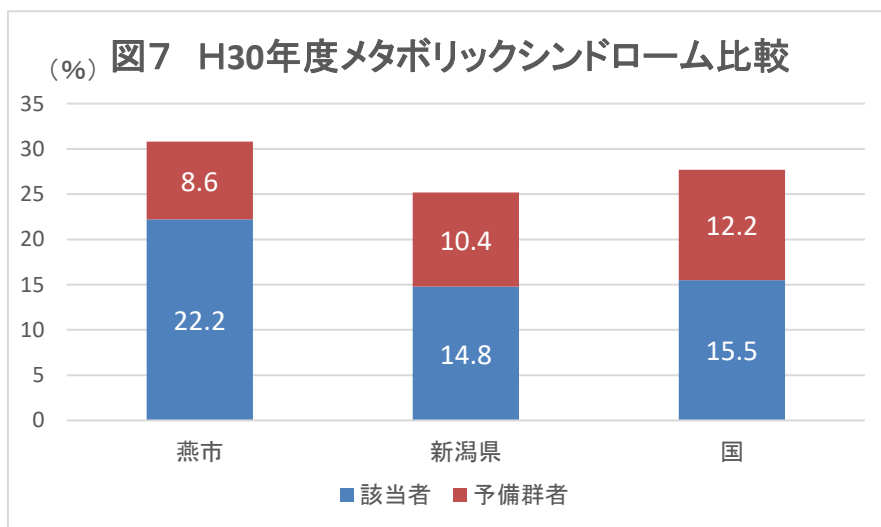
(6)メタボリックシンドローム年次推移（第3次燕市健康増進計画 P20 図19・図20比較）



資料：特定健診・特定保健指導実施結果総括表（法定報告）

平成28年度と比較すると、女性はほぼ横ばいである。男性はメタボリックシンドローム予備軍は減少しているが、該当者の割合が増えてきており、全体の割合も増加傾向にある。

(7)メタボリックシンドローム比較（第3次燕市健康増進計画 P36図60・図61参考）



資料：法定報告より算出（燕市）
厚労省HP「特定健康診査・特定保健指導に関するデータ」（県・国）

平成27年度と比較すると、県や国よりも割合が高い現状は変わらない。
メタボリックシンドローム該当者を減少させるために、市民自ら生活改善に取り組めるよう、今後も支援を継続していく必要がある。